



正門からロータリー大樹と校舎を望む。大樹は葛苺（チシャ）の木、樹齢約77年

第49号

題字 西 春彦 著

○発行所 川辺高等学校東京同窓会

○発行日 令和7年11月8日

○編集発行人 森山昭利

○印刷所 株式会社 盈進社 ☎03(3262)3471

川辺高校東京同窓会
第49回
総会・懇親会
 報告
 2025.5.10
 東京都新宿区／ホテルグランドヒル市ヶ谷

第49回川辺高校東京同窓会の総会・懇親会は、令和七年五月十日、東京都新宿区のホテルグランドヒル市ヶ谷で開催されました。あいにくの雨模様ながら、参加者総数は、前年とほぼ同じの約七〇名、旧交を温めました。

来賓に、伊地知健三川辺高校校長のほか、阿久根學薩南工業高校同窓会関東支部、前原東二関東知覧会、内村哲也関東さつま川辺会の各会長のご出席をいただきました。



懇親会・来賓席で。着席の左端が伊地知健三川辺高校校長、右隣が阿久根學薩南工業高校同窓会関東支部会長、後列左端が森山昭利東京同窓会会長、右端が内村哲也関東さつま川辺会会長



特別参加してくれた令和7年新卒の茅野勇治君と立石瑛士君（森山会長を挟んで）

●**懇親会** ● 懇親会は、阿久根學薩南工業高校同窓会関東支部会長の挨拶および乾杯の音頭で始まりました。宴会は、ある席では和やかに、ある席では賑やかに、お酒が進むほどに話題の尽きない光景が見られました。会の盛り上げに一役かってくれたのは、

特別参加してくれた令和7年新卒の茅野勇治君と立石瑛士君の二人。大先輩たちに囲まれて、しばらくは緊張気味だったものの、時間を経ずして様々な席で、歓談に加わってくれました。出席者全員に「ハズレ」のない抽選会も、大いに盛り上がりました。当選

した「さつま揚げ」や「かるかん」を自席で開けてみんなに振る舞う姿も。さて、参加者一同が耳を傾けたのは、伊地知校長のご挨拶、および現在の母校の現状報告でした。

まず、「今年度の新入生は33名と少なく、生徒の減少対策は喫緊の課題です」とし、「新たなステージの取り組みを進めています。川辺高校の歴史と伝統をベースにして、生徒主体の公式インスタグラムを開設して地域中学校への情報発信と連携強化を図っています」との説明が。一学年あたり五クラスだった60〜70歳前後の参加者にとっては「新入生33名」という実態はショックには違いなく、会場の雰囲気も暗くなりすぎたと思われたのでしょうか、続けて、「加世田高校など近隣の校長さん達とは、折に触れ仲良く接してはいますが、内心では、生徒争奪に張り合っているわけです」とジョークで場を和ませてくれました。

宴も終盤。校歌斉唱の後、昨年も好評だった長老・昭和32年卒業の松田哲郎さん達による——参加者全員への、東京同窓会への、そして、遠い故郷の現役高校生への——応援エールが会場全体に響き渡りました。

万歳三唱の音頭をとったのは、昭和38年卒業の大古殿巖さん、小原東洋明さん、堂園俊秋さん。最後に、峯苦稔三副会長の閉会の辞で懇親会は盛会のうちに終了しました。

議案「会務報告」、第2号議案「会計報告」、第3号議案「会計監査報告」、第4号議案「49〜50期役員改選の件」を審議し、いずれも原案通り、承認されました。（役員改選は、一部のみで、正副会長は留任）

●**講演会** ● なお、総会に先立ち、今村茂行氏による「酵素について」と題する講演が行われました。今村さん

は、森山会長、峯苦稔三および橋本起世子両副会長と同期（昭和41年卒）の同窓生で、酵素研究に長く取り組んでいる薬学博士。「酵素とは何か」「酵素は生体内でどのようにして作られるか」「酵素は地球上にいつ誕生したか」「飲酒と酵素」などについて知見を披露、参加者の知的好奇心に添えてくれました。

「さつま揚げ」や「かるかん」を自席で開けてみんなに振る舞う姿も。さて、参加者一同が耳を傾けたのは、伊地知校長のご挨拶、および現在の母校の現状報告でした。

まず、「今年度の新入生は33名と少なく、生徒の減少対策は喫緊の課題です」とし、「新たなステージの取り組みを進めています。川辺高校の歴史と伝統をベースにして、生徒主体の公式インスタグラムを開設して地域中学校への情報発信と連携強化を図っています」との説明が。一学年あたり五クラスだった60〜70歳前後の参加者にとっては「新入生33名」という実態はショックには違いなく、会場の雰囲気も暗くなりすぎたと思われたのでしょうか、続けて、「加世田高校など近隣の校長さん達とは、折に触れ仲良く接してはいますが、内心では、生徒争奪に張り合っているわけです」とジョークで場を和ませてくれました。





東京同窓会創立50周年に向けて

東京同窓会会長
昭和41年卒 森山 昭利

令和7年5月10日に川辺高校 東京同窓会の第49回総会・懇親会を無事終えることができました。ご参加下さった会員並びに母校の伊地知校長ほか来賓の皆様深く御礼申し上げます。

総会の当日は天気にも恵まれたものの、その後は空梅雨かなと思っていたそばから、故郷の鹿児島は8月に災害級の大雨に何度も見舞われ、地球温暖化の影響(?)を思い知らされました。

そのような環境下ではありますが、5月の総会・懇親会の整理や反省を進め、同時に来年の総会・懇親会の準備に着手しました。令和7年8月1日の役員会で、総会の日時、場所などについて以下の通り決定しました。

- (1) 日時…令和8年5月17日(日曜日) 午後12時～15時
場所…ホテル グランドヒル 市ヶ谷(令和7年と同じ)

- (3) 会費…男性1万円、女性9千円

(令和7年と同額で、前払い式)

この総会は東京同窓会にとって大きな節目となる、50周年という記念すべきものとなります。人生で云えばちょうど中間ということになり、会員の皆様のご期待も大きいことと気を引き締めています。

国内外の政治・経済をはじめ、四季から二季に変わったかのような気候変動など、少し先のことでも見通しが難しい環境が続きますが、たくさんの会員が参加して、同期、先輩、後輩が集って歓談できる会にしたいと思えます

東京同窓会の役員もそろって準備に邁進しますので、会員の皆様の暖かく力強いご支援と、奮ってのご参加をよろしく願います。



本部同窓会会長挨拶

本部同窓会会長
昭和48年卒 高田 政雄

東京同窓会の皆様におかれましては、益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。五月十日の同窓会総会には体調不良で参加できずに申し訳ありませんでした。伊地知校長先生から「皆様がお元気で活気あふれる総会・懇親会であつた。」と聞いて参加出来なかつたことがとても残念でした。

さて、今年の各地区同窓会の開催状況は、南九州市職員等神戈陵会が六月二十日、南さつま地区神戈陵会が七月十一日、本部同窓会は八月九日開催しました。どの会場も毎年のことながら非常に盛り上がり楽しい時間を過ごしていました。最後はどの会場も校歌斉唱で締めくくり終演となりました。福岡同窓会は十月十八日に予定されています。

六月五日に実施した神戈陵塾は東京同窓会の皇宮警察に勤務している遠見貴弘さんと地元菊野病院に勤務している理学療法士の佐多克友さんの二人を講師にお招きして実施されました。生徒達は真剣に聞き入り様々な質問をしていました。進路意識の高揚とキャリア教育の充実の一助になったと思います。

ところで、今年の卒業生は五十九名でしたので近年の状況から何名入学して来るのか危惧していましたが五十八名の入学人数でほっと胸を撫でおろした感じでした。現在、二年生三十二名、三年生三

十名の合計百二十名です。来年度の募集定員八十名に向けて学校・PTA・同窓会が一体となって各種施策を展開すると共に活性化対策事業ワーキンググループを中心に年間計画を立てて活動しています。生徒達もSNSを活用した情報発信や川辺二日市、祇園祭り等の地域行事に積極的に参加して川辺高校の見える化に取組んでいます。また、八月三日の全国高校総体のなぎなた団体戦は鹿児島県で史上初の三位入賞を成し遂げました。この素晴らしい成績を挙げたことで「なぎなた川辺」を県内にアピール出来たと思います。

このような中で同窓会としては母校教育の発展のために引き続き支援を充実していきたいと思っておりますが、生徒数の減少や同窓生の高齢化により同窓会運営資金が枯渇してきている事から今回は森山会長様にお願ひして同窓会にご出席された皆様へ「賛助金のお願ひ」の趣意書と払込用紙を配布させていただきました。物価高騰で厳しい中ですが、趣旨をご理解いただき協力くださいました方から感謝申し上げます。今後とも同窓会への皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

最後に東京同窓会の益々のご発展をご祈念申し上げます。



辺高生、令和7年も頑張っています！

川辺高等学校校長 伊地知健三

川辺高等学校東京同窓会の皆様におかれましては、ご健勝にてお過ごしのことと拝察いたします。平素から本校の教育活動に対して深いご理解と物心両面の多大な御支援を賜っておりますことに厚く感謝申し上げます。令和6年4月に着任し、2年

目を迎えました。素直で何事にも一生懸命な生徒たちに、辺高の伝統が脈々と受け継がれていることを感じます。

さて、5月に行われた第49回東京同窓会総会・懇親会に参加させていただきました。私的主たる目的は、会場の皆様に母校の近況報告を届けることでありましたが、参加された同窓会員の皆様の今も変わらぬ母校愛とエネルギー溢れるお姿に、またもちろすが元気をもらって帰鹿した次第でありました。参加の機会をいただきました。誠にありがとうございます。

さて、川辺高校在籍の120(1年58名、2年32名、3年30名)名は、それぞれが学びの意義を思考し、探

求しながら、学業に、部活動に、ボランティア活動などに積極的かつ精力的に取り組んでおります。その一端をご紹介します。

文化祭、体育祭は「神戈陵祭」と銘打って実施しております。文化祭は6/7(土)にMatsukawaホール(川辺文化会館)にて実施しました。川辺商工会の協力のもと、キッチンカーやマルシェの出店で大いに賑わいました。体育祭は9/6(土)に行う予定です。

部活動では、なぎなた部が九州大会、全国大会に出場しました。九州大会では試合競技個人の部で2年生選手が優勝、演技競技では3年生ペアが3位入賞を果たしました。さらに、インターハイ(四国総体・島根県出雲市)では試合の部団体戦で全国3位に入賞しました。九州大会の優勝、全国大会の団体3位入賞は、いずれも鹿児島県初の快挙です。今後のさらなる活躍が期待できそうです。

文化系部活動では、書道部は南日

本七夕書道展において3年生部員が高校の部で市議会議長賞(最高賞)を受賞し、2年連続の九州大会出場を果たしました。また、吹奏楽部は定期演奏会の盛り上がりを目指し、県吹奏楽コンクールに薩南工業高校と合同で出場し、見事金賞を受賞しました。7月末には香川県高松市で行われた全国高等学校総合文化祭では鹿児島県代表の南薩地区合同バンドの一員として出場しました。

ボランティア活動では、今年も川辺祇園祭の灯笼づくりで全校生徒で取り組み、有志が神輿担ぎを手伝ってくれました。また磨崖仏まつりでは美術部が昨年に引き続き公式ポロシャツのデザインを手がけてイベントを盛り上げていく予定です。

話は変わりますが、昨年度の生徒会長、新生徒会長は「自治の学校づくり」を掲げて当選しました。校則を生徒が主体的に見直して時代に合ったものに改

正する取り組みや、校内のイベントを生徒主体の運営などに積極的に取り組んでいます。これからも生徒たちの頑張りを見守っていきたいと思っております。



「神戈陵尚学舎」と同窓会記念碑 (夢の実現へ 豊かな時間を)

来年の第50回記念同窓会に向けて、東京同窓会のご発展と、会員皆様ますますのご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。挨拶とさせていただきます。

特別講演

酵素とは？

いまむら酵素研究所 代表取締役 今村茂行氏 (昭和41年卒)

酵素とは？

小生は1970年から凡そ50年間に亘って臨床検査試薬に用いる微生物由来酵素の探索を初め体外診断薬の研究開発に携わって参りました。日常生活で「酵素」という単語はあまり耳にしたり目にしたりする機会は少ないと思いますが我々の健康や生命現象と深く関わっています。

酵素とは特定の化学反応を助ける天然の触媒活性を有する蛋白質です。酵素は特定の化合物(基質)に対して特異的に認識し化学反応を効率よく進める性質をもっており、生命の維持に必須です。

触媒反応とはどのようなものでしょう？一例として無菌状態の容器に加熱溶解した澱粉溶液を入れて室温に置いたとします(粘性有)。1ヵ月経過しても何ら変化はありませんが、無菌的に少量の酵素アミラーゼ(唾液でも可)を添加すると数分程度で粘性が急速に減少する現

象を確認することができます。澱粉は酵素反応によって加水分解され効

率良く生体で利用可能なデキストリン、ブドウ糖に分解されることが分かります。我々がご飯(澱粉)を摂取した後澱粉は唾液中のアミラーゼ更に腸管において膵臓から分泌されるアミラーゼによってブドウ糖(グルコース)に変換され血流に乗って全身に行きわたり必要な栄養源として供給されます。蛋白源としての肉や魚肉は膵臓から分泌されるプロテアーゼ(蛋白質分解酵素)によってアミノ酸に分解され血中に取り込まれます。またオリーブ油などの油脂は膵臓リパーゼ(脂質分解酵素)によって加水分解され遊離脂肪酸として全身に供給されます。アミラーゼ、プロテアーゼ、リパーゼは加水分解酵素に分類されますが、これら加水分解酵素の他に酸化還元反応、転移反応、脱離反応、異性化反応、合成反応等6タイプの化学反応を触媒し科学的に数千種類程度が知られ

ています。酵素はヒトを初め動植物全ての生物の生命活動に重要な役割を担っています。

酵素発見の歴史

地球誕生は40数億年前と言われていいます。この地球で酵素はいつ頃発生したのでしょうか？20〜30億年前に光合成細菌(シアノバクテリア)の大規模発生によって大気中に酸素が豊富になったと考えられています。同時に生物進化によって多細胞生物、真核生物、植物等が発生しました。

6億年前にオゾン層が形成され1〜2億年前恐竜、爬虫類、鳥類が現れ旧人が現れるのは50万年前です。地球上に酵素が出現したのは光合成細菌が出現した25〜35億年前であると考えられます。我々人類が酵素は蛋白質であり触媒反応を有することを初めて知ったのは1890年代です。1900年代前半です。

酵素をはじめ蛋白質は各種アミノ酸類で構成されます。アミノ酸配列の情報は核酸の1種である遺伝情報としてDNAに保存されています。

DNAの構造と遺伝子発見

1953年DNAの構造に関する重大な学術発表がありました。ワト

ソン、クリック(米国)によるDNAの二重螺旋構造に関するものです。その後蛋白質・酵素の遺伝子発見機構の解明等遺伝子工学、バイオサイエンス等いわゆるバイオテクノロジーが急速な速さで花開きました。

その背景にはDNAの特定の配列を選択的に分解する複数のDNA制限酵素の発見、遺伝子発見機構の解明、遺伝子工学、質量分析、顕微鏡観察技術、酵素蛋白質の結晶構造解析、コンピュータサイエンス等の急速な進展と成果があります。ゲノムプロジェクトによって各種生物が有する遺伝子数(ヒト・21000、マウス・22000、酵母・5800、大腸菌・4400)等明らかにになりました。遺伝子配列情報から酵素を含む蛋白質の遺伝子発見機構も明らかになりました。DNAの配列情報は一旦メッセンジャーRNA(mRNA)に転写され細胞内のリボソームという場所で翻訳されペプチド鎖である酵素が合成されます(図1)。地球は45億年前に誕生したと考えられていますが、酵素は地球上でいつ頃誕生したのでしょうか？30億年前には地球上に酵素は誕生したと考えられています。30〜20億年前に真核生物が誕生し大気中の酸素濃度が

急速に増加しオゾン層が形成され動物の繁栄に繋がっています。

酵素の利用

酵素の利用分野として消化剤としての医薬品、体外診断薬（臨床検査）、洗剤、食品加工等の分野があります。消化薬、洗剤としてはアミラーゼ、リパーゼ等が汎用されています。体外診断薬（臨床検査薬）には各種酵素が用いられています。定期健診等で汎用されています。血糖、中性脂肪、総コレステロール、HDL、コレス

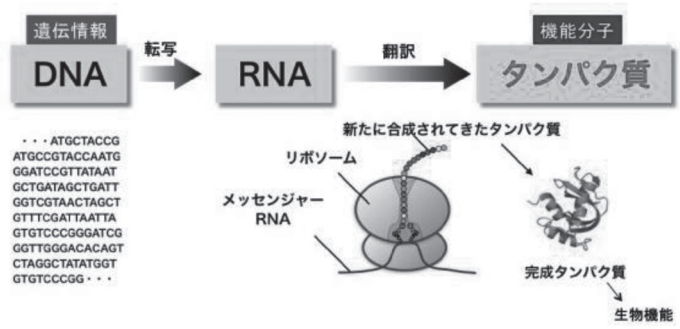


図1 酵素（蛋白質）の誕生



自動分析機器

血糖の自己検査



酵素含有自動分析用試薬

図2 臨床検査機器と試薬

テロール、LDL、コレステロール、AST、ALT、γGTP、クレアチニン、ヘモグロビンA1c、グリコアルブミン等すべての項目に分子認識に優れた最適な酵素が用いられます。検査試薬は血中の各種成分（酵素活性を含めて）分析に最適な基質特異性を有する酵素を含有する試薬キット（体外診断薬）として臨床検査室や臨床検査センターで用いられています。これら酵素を含有する体外診断薬は施設の自動分析機にセットされ使用されています。体外診断薬の形態は当初凍結乾燥品でありましたが、原料酵素の純度向上によって現在では溶液状態での試薬に進化し自動分析機器の性能は飛躍的に向上しました。また自分自身の血

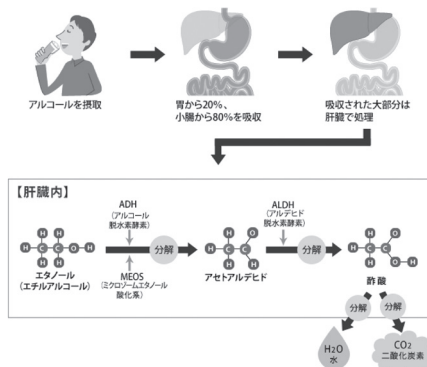


図3 アルコールの代謝

糖を家庭で分析できる機器も開発されヒトの健康管理に役立っています。（図2）。

九州、四国、東北、北海道地域は酒豪の割合が多いことが知られています。中でも焼酎王国の鹿児島は圧倒的に多数を占めるのではないのでしょうか？生体にとって異物であるアルコールの代謝（図3）は2種類の酵素（アルコール脱水素酵素、アセトアルデヒド脱水素酵素）によって代謝され最終的に水と二酸化炭素に分解されます。殆どのヒトはアルコール代謝に関与する2種類の酵素活性に強弱があります。希に酵素遺伝子欠損の方がいます。死に至る危険性がありますので注意が必要です。遺伝的に懸念される場合には初めて飲酒される前に遺伝子検査で簡便に

検査できますのでお勧めします。

酵素法による体外診断薬に用いられている酵素は主に微生物由来です。微生物起源としては主に土壌微生物です。土壌微生物は多様性に富んでいるため酵素や医薬品産生の給源として汎用されます。酵素法による体外診断薬に用いられる酵素は20種類知られています。

酵素、補酵素、補欠分子族について

酵素は生体内でアミノ酸から合成されます。生体内で一旦合成された酵素は生体中に永久に存在する訳ではありません。絶えず新陳代謝によって生体内触媒機能を維持します。酵素の原料になるアミノ酸の中で9種類の必須アミノ酸は食品から摂取する必要があります。生命活動には酵素、補酵素、補欠分子族の存在は必須です。各種酵素及び補酵素NAD、NADP、FAD等は生体内で合成されますが、チアミン（ビタミンB1）、チアミンピロリン酸、ピオチン、ピリドキサルリン酸、鉄、亜鉛、銅、マグネシウム、モリブデン等の補欠分子族は体内で合成されませんので可能な限り複数の食品素材から積極的に摂取する必要があります。

陵友だより

今年は関西万博の年でした。「陵友だより」を二名の方にお願したところ、いみじくも二人の方とも関西万博に関すること内容でした。関西万博も開催前は、万博会場の建設の遅れや入場前売り券の販売が思わしくなく、交通インフラの心配などありましたが、ここにきて盛り上がりを見せています。

関西万博に行かれてない方は、是非とも一読されて関西万博の雰囲気味わっていただければ幸いです。

(編集部)

万博・大阪の旅

昭和41年卒 緒方むつ子



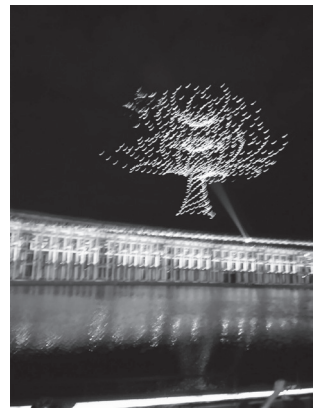
55年前に訪れた「太陽の塔」の前の筆者

五十五年前、ミニスカートの乙女は大阪吹田市の万博会場に。そして喜寿の今年、大阪夢洲の万博会場へと足を運びました。七月二十四日夕方の入場とあり、東ゲートを通り通過。中は猛暑の陽差し強く、帽子や日傘は必須。大勢の人が行き交う中、予約の取



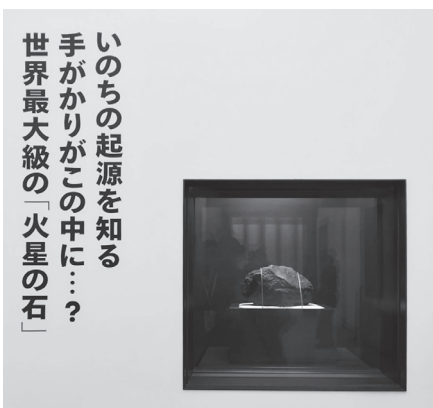
日本館の前で

れた日本館へ。中は涼しくホッとすると日本館は世界のあらゆる課題を解決し得る存在としての藻類や微生物に焦点をあて、それらが行う「小さな循環」を可視化する紹介。ふと同窓会の折、講演して下さった今村茂行さんの酵素が頭をよぎりました。前回は月の石を、今回は火星の石、はやぶさによって持ち帰られた小惑星リュウグウの砂を直接目にする事が出来、未知との遭遇に興奮しながら出口へ。外はまだ明るい。そこから一周約二キロの大屋根リングへ。貫の工法で日本らしさを感じ、海からのこちよい風を浴びながら散策。会場を一望出来、陽が沈むと会場に明かりが。各パビリオンも一段と映える。今日の目的でもあった噴水ショー、大空に浮かぶドローンの芸術



大屋根リングとドローン(夜景)

美を堪能して会場を後に。二日目十時入場。昨日と違い入場に時間を割く。予約不要のアメリカ館に並ぶ。待ち時間二時間、炎天下で熱中症対策をしながらただただ待つ。展示は少々期待外れ。待ち時間を利用して息子がパビリオンの予約を何か所かゲット。いのちの未来パビリオンではアンドロイドの繊細さに驚き、やがて人間とアンドロイドが反対の立場になるのではと恐怖も抱き。未来の都市パビリオンは日本企業の未来社会をシミュレーション。展



いのちの起源を知る
手がかりがここの中に...?
世界最大級の「火星の石」

火星の石はまさに火山岩の感じがした

示や参加型体験が出来、そう遠くない日常を垣間見る思いでした。他には歩きながら自由入場できるパビリオンをいくつか廻り、その国の文化や伝統を見て廻りました。見られたのは会場の一部ですが、五十五年前に私が感じた文明開化の音がするとの思いとちよつとかけ離れている気がしました。今はいろんな情報を常に身近に感じることが出来、日々が文明開化なのかもしれません。そして、三日目大阪城へ。西の丸庭園をゆっくり散策した後、天守閣へ。高校の修学旅行で天守閣をバックに集合写真。その時の若き友の顔が浮かんできました。そこから人生初の観光名所、道頓堀へ。グリコの大看板を背に外国の方に負けず劣らずのハイポーズ。心齋橋の商店街を大勢の外国の方に交じって見て歩き新大阪駅へ。毎日二万歩を越すハードスケジュール。半アナログな私は今回の旅が息子の手助け無しでは成し得なかつたことに感謝しながら帰路につきました。



関西万博の公式キャラクター
「ミャクミャク」

大阪・関西万博2025 海外パビリオンの設計

昭和59年(1984年)卒 上之蘭 祐司

はじめに

この度、川辺高校東京同窓会よりお声がけいただきましたので、僭越ながら設計の一部を担当させていただきました。大阪・関西万博2025(以後万博)のモノコ公国パビリオンについて投稿させていただきます。

現在60歳の私は小さな設計事務所の代表として現役で働いております。最近は超高層ビルの建物構造監理業務(施工者が構造設計図に従って適切に施工しているか監修する業務)を主にやっておりませんが、これまで超高層オフィスや総合病院・高層マンションなどの構造設計・監理をしてきました。(日本では沖縄県から山形県まで、海外ではトルコ・台湾・西アフリカ・中国)

■大阪・関西万博2025

今回の万博は以下のテーマと3つのサブテーマをもとに作り上げられており、その基本的な方向性としてコンセプトが掲げられています。各パビリオンはこれを基に展示や建物などがデザイン(設計)されています。

テーマ…

『命あふれる未来社会をデザイン』

1. いのちを救う
2. いのちに力を与える
3. いのちをつなぐ

コンセプト…『未来社会の実験場』

1. 未来社会を「共創」(Co-create)
2. 世界中の課題やソリューションを共有できるオンラインプラットフォーム



大阪・関西万博 全景図 (大阪万博2025公式ブログより引用)

3. 新たなアイデアを創造・発信する場

■大屋根リング

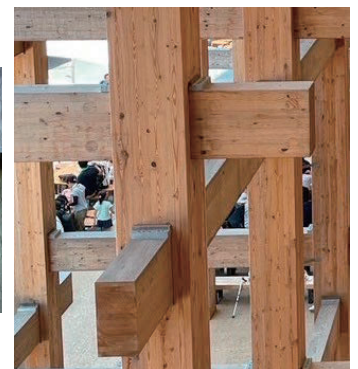
万博のシンボルとなっている会場を囲むように円弧に配置された大屋根リングは、世界最大の木造建造物(全長約2km)となっています(ギネス記録認定済)。講演会にて設計者から話を聴く機会があり、この大屋根リングを構成している木材を繋げているのは日本古来の木造接合方式の『貫(ぬぎ)』という工法です。その工法を設計事務所・建設会社3社で創意工夫し進化させていました。建設会社3社で細かな部分が少し違いますが、それぞれ特徴



写真1 大屋根リング 内観



写真2 大屋根リング 外観(夜景)



大屋根リングの『貫(ぬぎ)』



京都 清水寺の『貫(ぬぎ)』

がありとても素敵です。日本人として誇りに思います。この大屋根リングを観るだけでも大阪万博へ行く価値ありと私は感じています。

■モノコ公国

パビリオンの説明をする前にモノコ公国について少し解説します。モノコ公国は国連で認められた世界で2番目に国土の小さな国(最小はバチカン市国)です。国土面積は約2.1km²(長さ約4km、幅約0.5km)であり、世界で一番人口密度の高い国(1.9万人/m²)となっています。気候は温暖

写真1 屋内展示(海底と光)



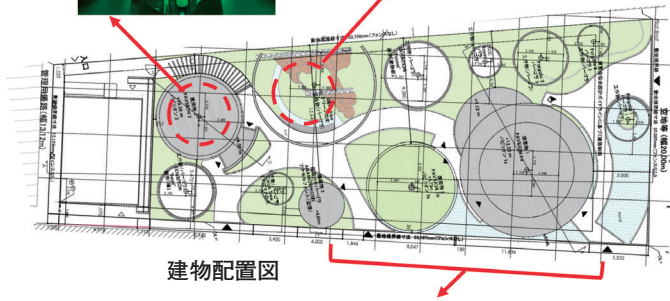
写真2 オリーブの木(樹齢500年)



モナコ公国のヨーロッパでの位置



モナコ公国の概略図



建物配置図



グレースケリー映画『裏窓』より



モナコグランプリフェアモント・ヘアピンカーブ



写真3 パビリオン外観(夜景): 有限会社ダイユー HP 写真 引用



写真4 外部装飾(ピクセル)

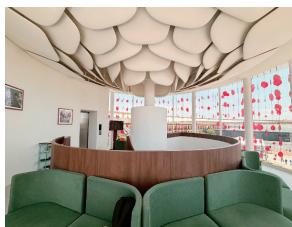


写真5 4階ワインバーラウンジと天井装飾

で安定しており、地震や台風もありません。モンテカルロのカジノ(1863年開業)は有名であり、所得税が無く事業税も低いので世界中の富裕層が多く住んでおり、国民の平均所得額は世界一となっています。

モナコと言えば、ハリウッド大女優だった故グレース王妃(グレースケリー)とF1レースのモナコグランプリが有名です。

海外パビリオンの設計プロセスですが、基本的に建物デザイン・展示デザインを本国で実施しており、ほぼ案が固まったところで開催国の設計技術者へ行政手続きをメインに実施してもらうやり方です。施工も然り海外建設会社(日本法人有)が該当国から建設を請け負い、そこから日本の建設会社に発注するやり方がほとんどのようです。

■モナコ公国パビリオンの設計

モナコパビリオンもモナコ在住の設計者(構造基本設計者はフランス)で進められており、彼らの設計図を基本的に日本側の設計チームで行政手続きを含め実施設計を進めていきました。

モナコパビリオンは、敷地面積約870㎡建物面積合計約660㎡です。敷地内を移動しながら室内展示・屋外展示を観ていく回遊型展示となっています。

また、本国モンテカルロにある5つ星ホテル、オテル・ドゥ・パリ(1862年)のワインバーが3階4階にあります。本国より取り寄せた厳選されたワインとホテルより派遣されたソムリエによるサービスは大変人気です。

外観で特徴的なのは、建物の上部に配置されている赤いヒラヒラ(ピクセル)です(写真4)。これは故グレース王妃がバラをとっても好きであったことから敬意を表す意味でバラの花びらをモチーフにしています。同建物内の4階天井の装飾(写真5)も同様にバラの花びらをイメージしています。ちなみにバラの品種に『グレース・ドゥ・モナコ』がありますが、レーニエ3世(前国王)との結婚・モナコ王室入りになんて送られたバラの品種だそうです。故グレース王妃がどれだけ愛されているかわかる気がします。

「Take Care of Wonder」(自然の奇跡を守る)であり、モナコの自然と生態系を基軸に、いのちのつながりや役割などを展示しています。日本庭園を意識していると思われる展示庭園にはモナコ本国から持ち込んだ樹齢500年のオリーブの木が鎮座しています。

■モナコ公国パビリオンの構造設計

前述したように本国でまとめられた

基本計画を日本側で受け取り、日本の構造設計に関する各種行政手続きを完了させるのが私の当初の業務内容でした。本国から提示された設計内容で構造計算を実施し確認する事も含まれます。

ところが、本国から送られてきた建物構造計画等を確認すると、使用材料・構造性能ともに抜本的な改善が必要となり、以下の通り構造設計のやり直しとなりました。

①耐震性能の改善・構造部材の再選択と配置の調整

・建物構造性能の向上・日本の建築基準法に適合させる(耐震性能の向上)



写真6 鉄骨骨組建方時の状況1



写真7 鉄骨骨組建方時の状況2



写真8 基礎工事の状況

・行政手続き期間を削減・バランスよく構造部材を配置すると行政手続き簡素化可能

・建設時のみならず解体時の工期短縮と工事費削減

②ヨーロッパ仕様の部材から日本工業規格品(JIS規格品)への変更

・設計期間・製造輸送期間・行政手続き期間を短縮

・建設費削減

③建物の軽量化・地下基礎以外は全て鉄骨造(基本計画では一部鉄筋コンクリート造)

・基礎面積の最小化(工期短縮と工事費削減)

・杭を利用しない浮き基礎とする。(建物重量を排土重量以下・工期短縮、工事費削減)

・解体時の工期短縮と工事費削減

今回の万博の特徴は会場が埋立地であるという事です。1980年頃から埋め立てが開始されており、今ではかなり落ち着いてきているものの、2022年ごろの敷地近くの年間沈下量は5~10cm程度となっていました。おそらく現在も若干沈下しているかもしれません。さらに敷地の掘削は深さ2.5mまでしかできません(万博協会設計条件)し、万博閉幕後は基礎も解体しなければなりません。そのような条件下のため前記③の2番目の・で示し

たように、浮き基礎を採用しています。これだと周辺が多少沈下しても建物もなじむように沈下するので半年という万博開催期間では支障はないと考えています。地盤の変形に逆らって強固に支持するのではなく、変形を建物がいなしで周辺と「なじむ」という考え方が私は日本的でとても好きです。

その他細かな構造設計上の調整事項はありますが、専門職でないとなかなか分かりにくいかもしれませんので、ザックリ言うと、建物構造性能を上げて、工期を短くし、建設・解体コストを下げる という設計変更の工夫を色々したと受け止めて下さい。

基本設計から大きな構造設計変更をしましたが、地震が無く・台風のような強風雨が無く・年間300日程度晴れて乾燥した温暖な気候の国(モナコ公国)ですので、日本のように変化の激しい過酷な環境での設計は経験無いものと思われ、致し方ないかなと思っています。

以下の写真に建設時の建物構造体の写真をご紹介します。

■最後に

今回このような設計の機会をいただき大変感謝しております。

数年前にアフリカの仕事を一緒にした意匠設計者から声をかけていただき、



写真9 川辺から来た友人たちと

その意匠設計者も知人の外国人より依頼したいと声をかけられたようです。人との繋がりは本当に稀有なものだと感じ、大切なしなければならぬと改めて思います。

川辺の友人(川辺高校同期)にパビリオン設計を紹介したら関西川辺会に行くから一緒に万博行こうと誘われて行ってきました(写真9)。川辺を離れて35年経ちますがまだ繋がっている事に感謝しかありません。

この度は投稿に際し川辺高校東京同窓会の役員の方々に声がけいただき誠にありがとうございます。川辺高校卒業生の皆様への刺激の一端になっていただければ幸いです。

故郷の祭

川辺祇園祭「おぎおんさあ」の思い出

昭和41年卒 有蘭純一（鹿児島市在住）

川辺祇園祭100周年の節目に当たり同級生の峯苦君から原稿依頼があったので、幼少時の本町通り会の「おぎおんさあ」について記憶を辿ってみました。祇園祭は平安時代に京都八坂神社で疫病退散を祈った事が始まりとされています。その後商売繁盛、五穀豊穡を祈願するお祭りに進化し、八坂神社信仰と相まって全国各地に祇園祭が伝搬し鹿児島市では江戸時代の寛永年間（1630年代）に始まった記録が残っています。川辺では大正14年に始まったと言われます。

昭和37年に本町通り会の「八坂山」と「御神輿」に私や高校同期の太月君



おぎおんさあ 牛に曳かれる山車
(写真は筆者のお父様が、昭和37年夏に撮影されました。)

等の幼馴染と一緒に参加しました。当時6月になると上ん寺（光徳寺）横の公民館に本町の子供達が集められ、山車（やま）に乗る小学5年生から中学2年生までが、鐘と太鼓の練習をさせられました。譜面はなくオジサンたちの指導や先輩の見様見真似で稽古が始まりリズムを覚えます。そのうち山車の前に座る芸達者な3人が決まり毎晩練習があり選に漏れた子供たちは子供神輿を担ぐ練習、中学生は八坂神社の戈や神旗、町内を練り歩く賽銭箱などを持つ係が決まります。

7月半ばになると大人は下ん寺（瑞芳寺）で山車の組み立てに入ります。公民館に1年間保管して

いた山車の材料を記憶だけで荒縄を使って手際よく組み立て、紅白の幕や造花や杉の葉で飾り付けて完了。大人は慰労会で酒盛りの中も私達は稽古に明け暮れていました。「おぎおんさあ」の当日は、朝早くから公民館に集合して顔にお化粧して祭り



子供神どこかにいます（筆者もどこかにいますよ）

用の着物を着て最後の稽古を済ませて山車の上に乗る緊張してスタート場所の旧川辺町役場前に向かいます。ご神幸行列は先頭に猿田彦面をつけた天狗が先導で大旗を振り払い、厄を払うのですが子供心に怖かった思い出があります。

その後ろに山鉦や稚児行列が続き、八坂山がメインで笛太鼓を奏でながら牛に曳かれていきます。そのあとは大人の神輿・子供神輿が続いて川辺高校の先の御旅所（確か児玉病院）を目指します。御旅所では、汗で崩れた化粧をやり直して、おにぎりや煮しめ、サイダーやアイスキャンディを頂いて1時間ほど休憩してまた2時間程かけて下ん寺

の夏祭り会場に集合して解散でした。これが私の思い出の「おぎおんさあ」です。なお令和7年は7月27日に開催され、川辺仏壇の技術を駆使した御所車や豪華な山車が揃い、踊り連も練り歩き盛大に行われたそうです。

（編集部コメント）

「今年の8月4日の南日本新聞の三段抜き大きな紙面に「堂々 川辺祇園祭100年」みこし・踊り連―450人商店街練り歩くの記事に子どもの成長を祈る稚児上げの写真が大きく掲載されていた」筆者は会報誌44号（令和2年）に南薩地区最大の祭り【川辺二日市】についても執筆頂きました。

是非とも、読み返し頂ければ、幸いです。



瑞光寺に帰ってきた八坂山車

写真による戦争遺跡巡り地図の①から⑬に対応

② 特攻雄姿の像と隼



① 知覧特攻平和会館



④ 平和会館の横に復元された三角兵舎



③ 特攻像「とこしえ」の由来碑

特攻像「とこしえ」の由来

特攻機は、遂に帰って来ませんでした。国を思い、父母を思い、永遠の平和を願いなから、勇士は征したにちかひありません。

特攻像「とこしえ」は、全国の心ある人々によって建てられました。

み霊の「とこしえ」に安らかならんことを祈りつ。

りりしい、安を永久にほしい心をついで、

あ、

開闢の南に消えた勇士よ

製作 日笠野蒼貞 伊藤五百重先生
除幕 昭和四十七年五月三日
建設 知覧特攻慰霊顕彰会

⑥ 給水塔 (ほぼ当時のまま)



⑤ 三角兵舎の説明文

三角兵舎

三角兵舎は特攻隊員の宿舎でありました。敵の目を欺くため、松林の中に半地下壕をつくり、屋根には杉の幼木をかぶせ擬装してありました。

各地から集まった隊員は二、三日後には雲のかなた沖繩の空に散華されました。出撃の前夜は、この三角兵舎で壮行会が催され、酒を汲みかわしながら隊歌をうたい、薄暗い裸電球の下で遺書を書き、また別れの手紙等をしたためて、出撃して征ったのです。

ここに三角兵舎を復元し、当時をしのぶよすがとするものであります。

⑧ 特攻機を見送るまで(こ隊映画口ケ碑より)



⑦ 給水塔の説明碑

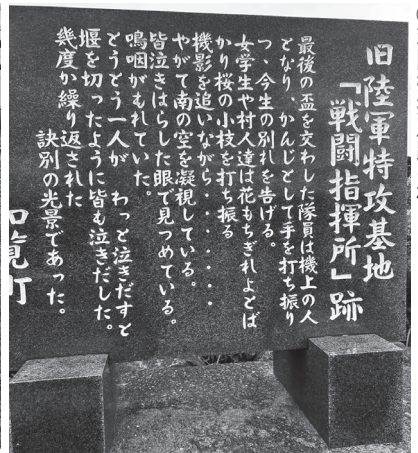
給水塔

昭和16年、飛行学校の一つの施設として建設され、当時の原型をとどめている唯一の施設です。下郡を流れる思川から取水しポンプで、高架式のタンクに貯水しました。

主に飲料水や飛行機の整備のための水に利用されました。

高さ約13m、直径約6mで町指定文化財となっています。

⑨ 戦闘指揮所跡の碑

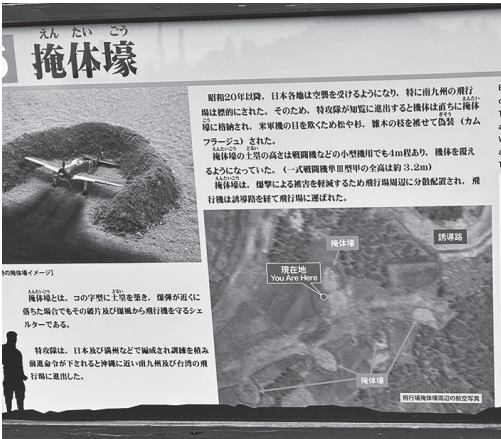


⑩ B29が墜落した碑向こうに見える丘は三砲座のあった猿山

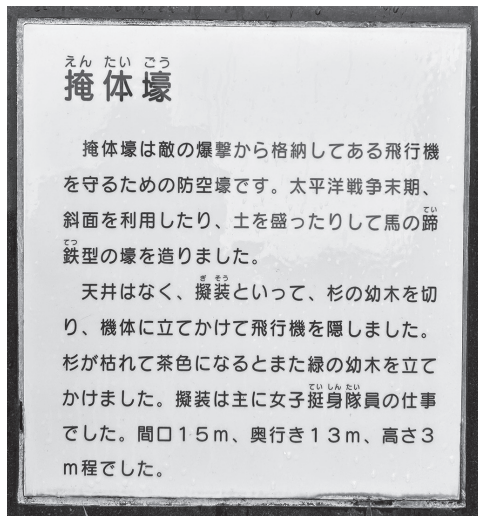
⑪ 三砲座跡の碑



⑫ 掩体壕の案内



⑬ 掩体壕説明碑



⑭ 掩体壕と格納されている隼（復元）

⑮ 三角兵舎跡地の説明板



⑯ 三角兵舎跡地の慰霊碑



私の作品展

田部田の田んぼアート



代掻きが終わった田んぼに、白いヒモで、デザインの下書きができました。

今年も多くの地元の皆様の協力で、素晴らしい田んぼアートが完成しました。
「お茶むらい」がホームラン。大谷選手は走っています。ホームランボールには（ン）が見えます。



参加した皆さんで、田植えが始まりました。



暑い日の田植え、細目に休憩して水分補給。子供さんたちの参加が多いですね。(写真のコメントは編集部)

南九州市川辺町田部田の田んぼアート

たべた田んぼアート実行員会

事務局長 南 田 祥 作 (昭和51年卒)

令和7年の田んぼアート田植えは、6月28日(土)と29日(日)の2日に分けて取り組みました。28日(土)は、前日の夕方に代掻きを行った土もまだ柔らかい状態の田んぼに田んぼアート図面を基に図柄のヒモを張り下書き状態の絵を描く作業でした。真つ直ぐな線であればヒモは張り易いですが曲線になると思うように張れないため、やぐらの上から見ている監督が指示を出し、線形のヒモを膨らませたり凹ませたりと微調整を行い下絵のヒモ張りを終えました。下書きは、これまでアート線引きを行った経験豊富な人達によって描かれております。

翌日、29日(日)田植え本番、当日は昨年とは打って変わって晴天の日となりました。雨・雷の心配もなく作業が出来ると事務局は安堵しておりましたが、逆に猛暑となり熱中症の心配をする羽目になり、休憩時間を1時間置きに取り水分補給等の時間を設けての作業となりました。

今年の参加者は、川辺小学校の児童・保護者・先生を含めて133名、一般参加者は市役所、農協、民生委員、郵便局長会、子供会、法人たべた会員、平山農地水会員と多方面からの協力を得て延べ250名の参加でした。

今年の図柄は、「大谷翔平を応援する」をテーマにした図柄で、疾走する大谷翔平をイメージし、南九州市のイメージキャラクター「お茶むらい」がホームランを打つ姿、I♡たべたの文字、巳年の「巳」等色々と書き入れています。皆さんに実物を観て貰えないのが残念ですが、今年はいい絵が描けたと事務局も自負しております。

また、今年も全国田んぼアート連絡協議会のメンバーと共に大谷翔平応援メッセージリレーに参加し、たべた田んぼアート実行委員会では○の中に「ン」の文字を入れております。全国の参加団体の10文字を並べると応援メッセージの完成です。

「ウ」 ↓岩手県奥州市水沢・跡呂井田んぼアート

「イ」 ↓東京都世田谷区三軒茶屋・東京田んぼアート

「ル」 ↓北海道旭川市・JAたいせつ田んぼアート

「ド」 ↓岩手県岩手郡・岩手町田んぼアート

「チ」 ↓福島県鏡石町・かがみいし田んぼアート

「ヤ」 ↓埼玉県越谷市・こしがや田んぼアート

「ン」 ↓新潟県十日町市松之山・おひつ膳田んぼ棚田アート

「ビ」 ↓静岡県菊川市下内田・田んぼアート菊川

「オ」 ↓福井県越前町・田んぼアートin樫津

「シ」 ↓鹿児島県南九州市・たべた田んぼアート

今年、インスタグラムに共同アップしておりますのでそちらを見て頂けると全国の取り組みが分かると思います。是非、南九州市に帰省する機会がありましたら川辺の田んぼアート見学においでいただけることをお待ちしております。



先ほどの南九州地域の大雨で、川辺轟橋から田部田辺りの田んぼが、水につかりました。幸いにして、田んぼアートは、被害を免れました。

神戈陵 俳壇・歌壇



【俳句】

前橋 竹之 (昭和二五年卒)

- 一、ふるさとは百里先なり麦の秋
- 二、湘南の海傾けてラムネ飲む
- 三、ふつふつと滾る鉄瓶敗戦忌
- 四、自販機の落つる音して原爆忌
- 五、来し方の想ひ出確と走馬灯

大平 政弘 (昭和三四年卒)

- 一、春暁や汽笛に明くる港町
- 二、鎌倉はどの寺訪ふも花の寺
- 三、嵐電の緩行の窓花吹雪
- 四、介護バス今日は徐行の花の下
- 五、境内に今朝の菊目花の塵

森山 昭利 (昭和四一年卒)

- 一、山々を島と浮かべて花の海
- 二、ネモフィラや地平は青く空に溶け
- 三、酔芙蓉染めたる空に星灯り
- 四、柿を食む音に季節は移りけり
- 五、遅れしも桜紅葉は火と燃えて

山本 朗 (昭和四八年卒)

- 一、蝉時しぐれ命の限り呼び交わし
- 二、わが母はコロナの夏に旅立てり
- 三、孫の顔じつと見ている昼寝どき
- 四、ガ島の海に散る叔父今も二十歳
- 五、鹿見島に合う人ありて空の旅

(注) ガ島・ガダルカナル島

【短歌】

橋本 紀世子 (昭和四一年卒)

- 一、そーれの声風待草香る中
翔びはね踊り復興祈る子ら
- 二、星空に雲の羽衣月につけ
しばしの逢瀬七夕の夜
- 三、母と子が戯れ遊ぶ秋の日に
見守る父の笑顔溢れる
- 四、庭先に思い出のコキア陽をあびて
ほんのり赤く色付き秋を呼ぶ
- 五、かあちゃんに感謝状の歌胸を打つ
島津亜矢さんの素晴らしき声



母校だより

母校同窓会担当教諭 是枝 利江
 今年で125年目を迎える。普通科のみの男女共学で、学級数は3学年6学級、在籍数120名である。



令和6年度神戈陵教育振興会奨学 振興会奨学生決定

令和6年度「神戈陵教育振興会奨学生」として、スポーツ振興面で、3年生の高倉颯夏さん（加世田中）、西星良さん（川辺中）、学術面で、2年生の桑原瑛太さん（立神中）に決定しました。



令和7年1月30日（木）に本校校長室で認定書及び奨学金を交付しました。

令和7年度スタート

4月8日（火）、第80回入学式が本校体育館で挙行され、新入生57名を迎え、全校生徒120名で令和7年度がスタートしました。今年も在校生（美術部員）が、歓迎の心を込めて黒板アートを作成してくれました。



第26回神戈陵塾

令和7年6月5日（木）（神戈陵祭文化祭の前々日）本校体育館で実施。



②佐多 克友氏（菊野病院理学療法士）
『One Team～医療従事者の面白さを伝えなきゃ♪』



①遠見 貴弘氏（皇宮警察）
『皇宮警察とは』

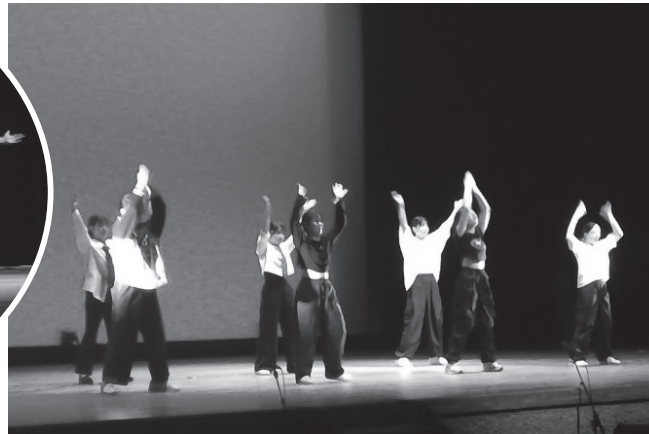


神戈陵祭文化祭

令和7年6月7日(土)
今年度も Markkawa ホール及び周



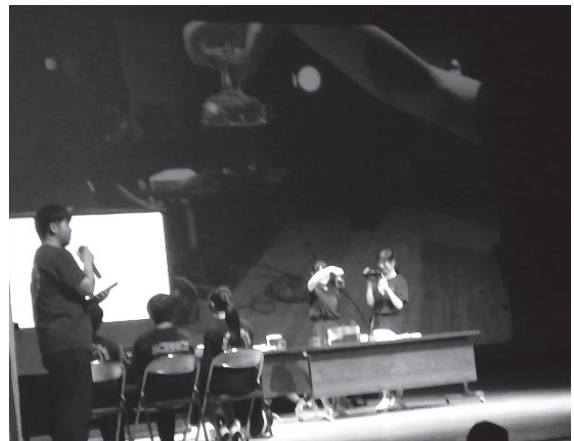
辺を会場とした。全クラス舞台参加とした内容、地域とつながりを大切に、キッチンカーやマルシェも実施した。



部活動

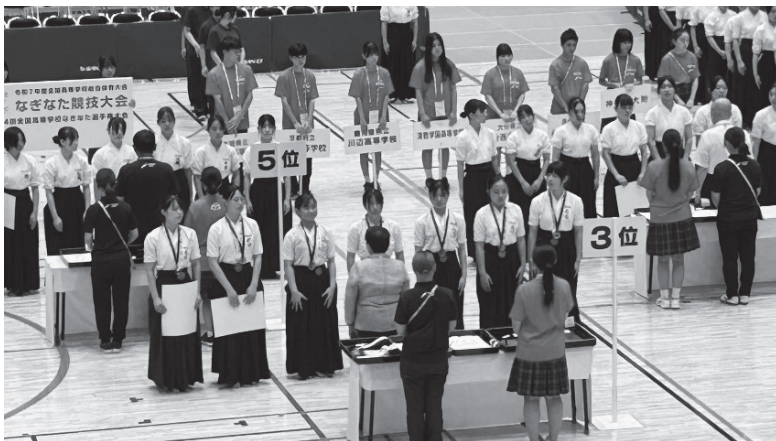
なぎなた部

2025年度全国高校総合体育大会



(中国総体)、なぎなた団体が過去最高の3位!!

3年生2人、2年生3人のメンバーで挑んだ団体戦の決勝トーナメントでは、それぞれが自分の役割を果たし、準々決勝では九州大会で敗れた長崎県の松浦高校にリベンジを果たし、準決勝に進出しました。準決勝では京都の南陽高校に惜しくも敗れましたが、過去最高の3位という素晴らしい成績を収めました。

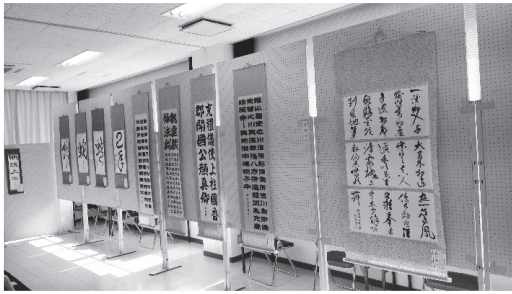


書道部

九州総合文化祭書道部門

鶴田桃子さん(3年)(川辺中)

部員たちは、個人の研鑽だけでなく、校門横のパネル揮毫で構成員を身につけながら、地域のイベント等にも参加し、書道パフォーマンスも行っています。



音楽部

第70回鹿児島県吹奏楽コンクール

高校B 金賞(薩南工業高校と合同出場)

かがわ総文祭2025吹奏楽部門
南薩合同バンドとして参加



美術部

川辺町には二日市や川辺祇園祭など、多くの伝統的行事やお祭りがあります。毎年11月に行われる「かわなべ磨崖仏まつり」も、南九州市の一大イベントのひとつです。

その祭りを盛り上げるために南九州市商工会青年部 川辺支部では毎年ポロシャツを作成していますが、そのデザインを川辺高校美術部が担当しました。その贈呈式が本校校長室で行われました。

今年の「第36回かわなべ磨崖仏まつり with 農業祭」は11月9日(日)開催です。当日まではだいぶ日がありますが、きつとこのポロシャツが祭りの機運を高めてくれることでしょう。

サイエンス部

川辺小学校での理科実験出前授業

令和7年7月12日(土)

本校サイエンス部12名が川辺小学校において出前授業を行いました。対象は6年生の皆さんです。

今回は液体窒素を使って、様々なものを凍らして「マイナス196度の世界」を体験してもらったり、紫キャベツの色素でお絵かきをしたりしました。また、「ダイラタンシー」の実験もしました。ダイラタンシーとは、物質



が圧力を加えることで一時的に固化する現象です。身近なものを使って、目の前で起こる不思議な現象に興味津々の様子でした。
最後は巨大空気砲を発射して締めくくりました。



中学生一日体験入学

令和7年8月25日(月)実施
生徒96名、保護者49名が参加。体育館で全体会の後、スタンプリー、体



験学習、部活動体験をしました。
今年も全体会は生徒会が運営し、いろいろな場面で生徒たち主体的に動いてくれました。

33 km 遠行

令和6年10月25日(金)〈今年は10月24日(金) 実施予定)



書道部と美術部の作品が見つかりましたので、左記の写真を挿入しました。



書道パフォーマンス
音楽部とコラボ



飯倉神社に奉納された
書道部作品



祝神戈陵第49号発行
川辺高等学校東京同窓会

薩南工業高等学校
同窓会関東支部

- 会長 阿久根 学 電気科S45年卒
- 副会長 中木原盛夫 普通科S33年卒
- 副会長 桑木野 智 電気科S41年卒
- 副会長 山崎 幸雄 電気科S41年卒
- 副会長 田中 逸穂 機械科S48年卒

〒196-0002
東京都昭島市拝島町1-8-2
(株)ピーエス技研内

事務局：阿久根 学
☎042-549-1957

関東知覧会

2026年総会は10月18日(日)

開催予定です。

親戚・知人の皆さん
お誘いください。

開催日程が決まり次第、来年8月頃再度ご案内します。

会長 前原 東二

川辺高校出身者 役員幹事紹介

- 大平 政弘 (S34)
- 峯 苦 稔三 (S41)
- 緒方むつ子 (S41)
- 井尻 啓子 (S41)
- 佐多ふく子 (S41)
- 瀬戸口欣宏 (S55)

連絡先 136-0073 江東区北砂1-4-16-603

事務局 副会長・幹事長

尾曲 正孝 090-8854-3263

古い町並みに心やすらぐ町 平和の尊さを語りつぐ町

関東さつま川辺会

第33回総会は、

令和8年3月7日(土)開催予定です。
詳細は追ってご案内状でお知らせいたします。

- 会長 内村 哲也 (昭和50年卒)
- 副会長 山下 裕一郎 (昭和44年卒)
- 副会長 川原 修二 (昭和45年卒)
- 副会長 峯 元政公 (昭和46年卒) (兼任 幹事長)
- 副会長 田中 勝之 (昭和56年卒) (兼任 事務局)
- 会計監査 足立 玲子 (昭和45年卒)
- 会計監査 加瀬 美千代 (昭和50年卒)
- 幹事長 峯 元政公
- 副幹事長 有村 公美子 (平成6年卒)
- 事務局長 草原 睦雄
- 事務局 田中 勝之
- 会計(正) 下之蘭 ルリ子 (昭和51年)
- 会計(副) 佐藤 妙子 (昭和44年卒)

(〇年卒)は川辺高校卒業年

連絡先 〒301-0022 龍ヶ崎市南が丘2-12-11
事務局長 草原 睦雄 (080-2009-3424)

まちの電気屋さん



(株)プロエイト
0993-56-5333
南九州市川辺町平山5992-1

福祉用具貸与・販売事業所



(有)ケアリンク
0993-56-2925
南九州市川辺町平山5992-1

精密金型製造



(有)プロテック
0993-56-6688
南九州市川辺町平山6115-2

PROグループ 代表 原口 和秋

ENEOS株式会社特約店
三井住友海上火災保険株式会社代理店
東京海上日動火災保険株式会社代理店

株式会社 前野石油
株式会社 前野設備

代表取締役会長 前野 政美
代表取締役社長 前野 耕作

- 石油事業部 ■ガス事業部
- 車販・太陽光事業部
- 住宅関連事業部 ■損害総合保険事業部
- 車検事業部 車検・板金センター

(国土交通省運輸局指定工場 指定番号 鹿-885)
本社 〒897-0211 鹿児島県南九州市川辺町両添1026
TEL0993-56-1336(代) FAX0993-56-3983



株式会社 加覧組

代表取締役 新谷 昭彦
(S59年卒)

〒897-0213
鹿児島県南九州市川辺町小野1184
TEL 0993-56-0321
FAX 0993-56-2173

労働保険・社会保険・労務管理のことなら
社会保険労務士法人 東京都労働保険協会
代表社員 星野佳介

併設 労働保険事務組合 東京都労働保険協会
理事長 荒殿孝洋 (昭和37年卒)

藤田陽一 (昭和53年卒)

社会保険労務士 有村公美子 (平成6年卒)

事業主様の特別加入・一人親方(建設業)の
特別加入もご相談ください

101-0061
千代田区神田三崎町2-12-7
静山ビル6階

TEL:03-5809-2872
E-mail:jimukumi@toroukyo.jp



南谷綜合法律事務所

- 弁護士 南谷 知成 (昭和36年卒)
- 弁護士 南谷 敦子 (長女)
- 弁護士 南谷 博子 (三女)
- パラリーガル 西 真由子 (平成17年卒)

南谷朝子公認会計士事務所

公認会計士 南谷 朝子 (二女)

〒810-0041

福岡県福岡市中央区大名1丁目8-10
福岡安藤ハザマビル5F
TEL:092-724-1113
http://minamitani-law.jp/

みなみにひろたか

南谷洋至法律事務所

弁護士 南谷 洋至
(昭和49年卒)
金峰町白川・阿多中出身

Empty your mind. Be water, my friend.
天籟遠く先哲の我にもの言ふ声あらん

〒810-0041 福岡市中央区大名一丁目8番12号
第二西部ビル3階・南谷洋至法律事務所
TEL 092-736-1531 FAX 092-736-1533
(川辺高校福岡同窓会事務局)

昭和38年卒の皆さん

まだ、老け込んでヤッセンド!
同窓会・懇親会に出ましょう。

若いころの話にひたり、
心身ともに、若返ろう!!

昭和38年卒有志

皆様的一段のご健勝を お祈り申し上げます

前会長
小原 東洋明
(昭和38年卒)

会員の皆様のご健勝を お祈り申し上げます。

元会長 (昭34年) 大平政弘
〒177-0045
東京都練馬区石神井台8-8-19-306
電話：03-6904-7230

S41年卒のヨカオゴジョ ・ヨカニセさん達へ

来年の同窓会は節目の
50回記念大会!
皆さん参加して
大いに盛り上がりましょう!

(昭和41年卒・役員一同)

昭和40年卒業の みなさ～ん

我々の思いは誰もが同じ!
これからの人生・健康に!
ポツポツ歩いていきましょう🐾
同窓会で会いましょう

(昭和40年卒有志)

シモ動物病院

院長 霜出 幸七
(41年卒)

愛犬・愛猫の病気の予防
治療に、ご利用ください。

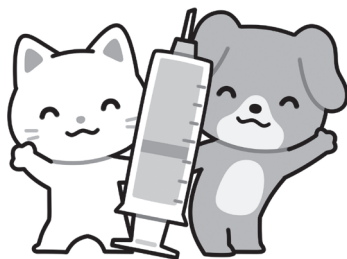
〒891-0113
鹿児島市東谷山3-36-11
電話 099-267-5959

ミネ・アニマルヘルス

獣医師 峯 苦 稔 三
(41年卒)

家畜の病気を予防し、安心・
安全な畜産物の生産に取り
組んでいます。

〒300-1622
茨城県利根町布川454-180
電話：090-2440-7109



昭和48年卒の皆さん

お元気ですか?

私達も古希の年齢になりました。
川辺高校東京同窓会50周年の
記念大会でお会いしましょう。

(昭和48年卒有志)

昭和45年卒業の皆様方へ!!

令和8年の総会・懇親会は、ホテルグランドヒル市ヶ谷において、
令和8年5月17日(日)に開催予定です。東京同窓会50周年の記念大会です。

同窓生を誘い合って参加しましょう。

記念大会を盛り上げよう!!

税理士法人スリーエス

「支えたい未来がある」を社是とし、いろいろな世代の方々に、いろいろな企業経営者の方々に、法人税、所得税、相続税などの税務相談、税務申告、事業承継などの役務提供を行ないます。

組織の概要

〈所在地〉

千葉事務所	千葉市中央区中央2丁目5番1号 千葉中央ツインビル2号館10階 TEL 043-224-0733 (代表) FAX 043-224-2960
東京事務所	東京都中央区京橋2丁目12番4号 光和ビル7階 TEL 03-5159-6021 (代表) FAX 03-5159-6028
幕張事務所	千葉市美浜区中洲2丁目6番地1号 ワールドビジネスガーデンマリブウエスト24階 TEL 043-301-3755

〈構成〉

代表社員 税理士	前原 東二
代表社員 税理士	藤木 明美
社員税理士	渡部 恵理子
社員税理士	齊藤 好一 (元東京国税局職員)
公認会計士・税理士	前原 大志
税理士	柳橋 治 (元東京国税局職員)
税理士有資格者	松浦 正幸 (元東京国税局職員)
税理士有資格者	村岡 昭宏
税理士有資格者	西澤 明紀 (元東京国税局職員)

〈提携先〉

弁護士	前原 香、川西 満、鎌倉鈴之助
司法書士	福田雅行、最首美枝子、石川 和司 中濱知子、諸岡 吉人、

グループ法人	株式会社スリーエス 株式会社スリーエスA & C 社会保険労務士法人スリーエス 行政書士法人スリーエス 株式会社スリーエスファーマシー 株式会社スリーエスビジネスイノベーション 株式会社スリーエスマネジメント
--------	--



支えたい未来がある スリーエスグループ

グループ名名の3つのS

Sure(確実)、Speedy(迅速)、Service(サービス)

活動の基本姿勢です。

企業、各種団体、個人の皆さまの様々な問題・課題の解決に、
各事業の専門家が一丸となって走り続けています。

税理士法人スリーエス

税務申告・税務相談 / 会計指導・記帳代行 / 事業承継・相続サポート /
各種コンサルティング / 開業支援・会社設立支援

所在地 〒260-0013 千葉市中央区中央 2-5-1 千葉中央ツインビル 2 号館 10F
〒104-0031 東京都中央区京橋 2-12-4 光和ビル 7F
〒261-7124 千葉市美浜区中洲2丁目6番地1号
ワールドビジネスガーデンマリブウエスト24階

株式会社スリーエス

経営戦略の立案 / 組織再編 / 財務デューデリジェンス /
企業再生に関するコンサルティング / 業務システム導入・サポート /
アウトソーシング / 人材紹介・派遣 / M&A・PMI コンサルティング /
医療・調剤コンサルティング / 調剤薬局 /
不動産コンサルティング / 相続サポート

所在地 〒261-7124 千葉市美浜区中洲2丁目6番地1号
ワールドビジネスガーデンマリブウエスト24階
〒260-0013 千葉市中央区中央 2-5-1 千葉中央ツインビル 2 号館 10F
〒103-0027 東京都中央区日本橋2-2-21 日本橋二丁目ビル4階

社会保険労務士法人スリーエス

労働・社会保険手続き代行 / 就業規則の作成・改定 /
雇用関係助成金申請 / 労務管理・労働相談

所在地 〒260-0013 千葉市中央区中央 2-5-1 千葉中央ツインビル 2 号館 10F

スリーエス *nexte*

承継 ~想いをつなぐ 企業も 家族も 人生も~

専門家集団だからこそできる想いに寄り添ったきめ細やかな
承継の為のサービスを継続的にご提供します。

スリーエス nexte 会員数 4,000 人突破

株式会社 スリーエス A&C

納車前整備 PDI / 部品取付 / 清掃業務 他

所在地 〒261-7124 千葉市美浜区中洲2丁目6番地1号
ワールドビジネスガーデンマリブウエスト24階

事業所 千葉・神奈川・北海道・岩手・秋田・福島・愛知・大阪・兵庫・
岡山・香川・愛媛・大分・福岡・長崎・熊本

行政書士法人スリーエス

官公署への申請書類の作成・提出手続き代行

所在地 〒260-0013 千葉市中央区中央 2-5-1 千葉中央ツインビル 2 号館 10F

NPO 法人 アジアの子ども達を支援する会

20年にわたり、日本を含むアジアの子ども達に
支援活動を続けております。

所在地 〒260-0013 千葉市中央区中央 2-5-1 千葉中央ツインビル 2 号館 10F

われら神戈陵同窓生

今年の総会・懇親会にご参加
いただいた皆さんに、笑顔が
いっぱいです。



講演会・総会会場の案内



今村氏による講演会「酵素について」



森山会長開会の挨拶



阿久根學薩南工業高校同窓会
関東支部会長による来賓挨拶



伊地知校長による母校の概況報告



伊地知校長を囲んで



小原前会長らが来賓を囲んで



昭和30,32,35,46年卒と新人・その他の皆さん



昭和34,45,平成11年卒の皆さん



昭和38,46,50令和6年卒の皆さん

われら神戈陵同窓生



昭和40,41年卒の皆さん



昭和43,47,53年卒の皆さん



昭和44,48,49,51年卒の皆さん



お楽しみ抽選会 お楽しみ抽選会。
故郷の焼酎・お茶・ゲタンハ等の賞品



懇親会の中の抽選会



懇親会終盤の校歌斉唱



昭和32年組の元気なエール。
皆さん元気をもらいました。



昭和38年組の閉会の
万歳三唱の前の挨拶



仲よし50年組。懇親会が終わったら
二次会も OK



川辺中学校校歌

作詞 佐藤 六次
作曲 渡邊 彌蔵

- 一、高千穂笠沙神代より
偉績かがよふ三州の
久遠の光身に浴びて
理想の山路一筋に
岩根ふみさきのほり行く
健児の姿ここに見よ
- 二、明治三十三の春
根ざしかためし花桜
ひらけ行く世に匂ひつつ
学びの窓に色映ゆる
神器の徽章燦として
千代を緑の陣ヶ丘
- 三、夜はいそしみ風におき
鍛錬刻苦現在を
活かして励む精神は
巖をもとほす桑の弓
強く正しく明らけき
胸の楽しさ誰か知る
- 四、振り仰ぎ見る天の原
高くかかれる先賢の
御霊の星は語らねど
若き生命にめざめたる
無限の使命影遠し
天馬に鞭を執らむかな
- 五、行路の険難笑らひつつ
踰えよや進め大通に
やよ青春の六百人
世界の思潮震盪し
澎湃碎くる銀濤の
そこ奮闘の新天地

川辺高等学校校歌

作詞 中重 徹
作曲 種子田孝蔵



作曲者
種子田孝蔵先生

- 一、あ、悠遠の陽に映えて
ほのぼの明くる三州の
秀霊の気よるところ
見よや希望の陣ヶ丘
夢美しき若人の
こ、揺籃の新天地
- 二、春乾坤の花の粹
一つに薫る桂木の
栄ある徽章燦として
輝く自治の旗のもと
世紀の梶をおしとりて
漕げや自由の暁の海
- 三、星の光は変らねど
人改まる丘の上
さらば我が友草に寝て
常磐の森の風に聞け
天籟遠く先哲の
我にもと言ふ声あらん
- 四、あ、青春の情熱を
傾け注ぐ川辺の
我が学舎に押し寄する
世界文化の大潮を
新たに巻きて押し返し
万里の岸を洗へかし



作詞者
中重 徹先生

第四十九回総会・懇親会の 反省と今後の課題

東京同窓会 会長 森山昭利

第四十九回総会・懇親会について、六月二十一日午後十二時三十分から、反省と検討のための会議を開きましたが、以下は当日の議論の概要です。

① 参加費の前払い

昨年に近い六十六名の参加者
受付作業は順調に推移
担当者も総会に参加できた

※今後も前払い制を採用する

② 講演会「酵素について」

五十名程度の聴講を予想
結果的に椅子を十脚以上追加
議題は難解だが質問もあり成功

※母校関係の講師探しが困難

③ 総会

時間が短かったが問題なし
会員から質問あり(後述)

※基本的には今後も短時間で実施

④ 懇親会

焼酎の持ち込み(6本)は十分
ホテルの食事は量が少なく不満

※来年以降の会場変更を検討

⑤ イベント

大抽選会には会員も期待
景品は検討しながら選定が必要

※次回以降も引き続き実施

総会・懇親会は全体的としては成功との結論ですが、一方で多くの課題も出されました。

前記③の会員からの質問は、「会計の次期繰越金が減少(つまり赤字)の傾向にあるが、その対策はどう考えているか?」という趣旨でした。

その時は「今年度から年会費を従来の千円から2千円に上げており対応は可能」と回答いたしました。

しかし、今総会の決算では収入が約六十一万円に対して支出は約九十六万円で、結果的には約三十五万円の赤字になりました。

昨年からの物価高が広範囲で、ホテルの費用も価格自体が上昇するとともに、量的にも少なくなる「ステ

ルス値上げ」が見られました。

また、年会費は値上げしましたが、払いただいた会員数も落ち込んで、手元資金(現在約三十五万円)が少なくなったことも影響しています。

※反省会の席でも披露して議論しましたが、年末にも資金ショートに陥る可能性が高い状態です。会員の皆様には大変申し訳なく思いますが、会報誌の発送時に「ご寄付のお願い」をせざるを得ないという結論になりました。

なお、資金不足への対策としては次のようなことが考えられます。

① 収入の増加

年会費値上げ(値上げした直後)
参加費値上げ(参加者減の恐れ)
広告費値上げ(件数・効果に疑問)

② 支出の削減

抽選会の中止(参加者には大好評)
他会への参加減(相互参加で?)
郵送物の削減(会報誌削減は有効)

郵送会員の削減(休眠会員で対応)
一部の役員会は参加者負担中
諸物価の値上がりには無策

③ 会報誌の休廃刊

印刷・発送費は減(三十万円ほど)
広告収入減が伴うため無意味

担当者不足の対策としては有効

④ 総会・懇親会の開催方法変更

・総会のみで懇親会無し
負担するのは総会費用のみ
懇親会重視の会員が多いか?

総会参加者のさらなる減少懸念
総会・懇親会を2年ごとに開催
会員の意向次第

総会参加者の確保は不明
経費削減にはある程度効果

・ネット利用での総会に変更
懇親会希望者多数の場合は問題
ネット利用者数自体が少ない

結局、多くの施策が一時しのぎとの評価は免れず、「会員の意見を集約しながら方向性を模索する」という対応になるといのが結論です。

東京同窓会の会長としてまことに不甲斐ない結論ですが、今後とも機会があるごとに会員の皆様にご意見を伺いながら、より良い方向を見つけてることに全力を尽くします。

会員の皆様のご支援を賜りますようお願いいたします。



事務局からの
お知らせ

今年の夏は昨年以上に猛暑・酷暑の夏でした。地球の温暖化対策は待ったなしの感ですが、この「神戈陵第49号」がお手元に届く頃には、秋も深まりいい季節になっていることを願っています。

総会・懇親会について

第49回の総会・懇親会の詳細については本冊2ページに記載されていますが、大いに盛り上がりましたが、ここでは、総会に付議して承認頂きました第1号議案から第4号議案について、総会にご出席いただかなかった会員の皆様にご報告させていただきます。

第1号議案・第48期会務報告（令和6年1月～12月）

第2・3号議案・第48期会計報告・監査報告

第4号議案・役員改選の件

年会費について

東京同窓会の年会費は令和7年度より、年2000円となっています。

◇ 令和6年度 川辺高等学校東京同窓会 会務報告 ◇

	月 日	事 項	場 所	備 考
1	1月27日(土)	役員会	日本橋 TOYO	総会・懇親会5月26日(日)開催決定
2	2月15日(木)	ホテルと会議	グランドヒル市ヶ谷	役員会での総会懇親会開催決定連絡 ホテル案内地図受け取り
3	2月26日(月)	印刷発注	盈進社	総会・懇親会の案内状 長3封筒、返信ハガキ
4	3月16日(土)	役員会発送作業	ルノアール 飯田橋西口店	総会での年会費値上げ議案を討議、1000円から 2000円への値上げ案合意総会・懇親会の案内状、 返信ハガキ、ホテル案内地図同封
5	3月24日(日)	関東さつま 川辺会	グランドヒル市ヶ谷	峯苔副会長
6	5月11日(土)	役員会		総会準備・打合せ
7	5月25日(土)	懇談会	九段下「かもめ」	森山会長、峯苔副会長、橋本副会長、椎原副会長、 下園盈進社社長、伊地知校長、高田本部同窓会長、 是枝教諭
8	5月26日(日)	第48回総会・ 懇親会	グランドヒル市ヶ谷	出席者数：会員64名、来賓7名 第1号～第4号議案 可決承認
9	6月7日(金)	盈進社訪問	盈進社	下園社長と面談 森山会長、橋本副会長
10	6月8日(土)	総会反省会	ルノアール 飯田橋西口店	役員11名
11	7月28日(日)	南さつま市 関東ふるさと会	メトロポリタン エドモント	森山会長
12	8月3日(土)	役員会	ルノアール 飯田橋西口店	「第49号神矛陵」編集について
13	10月5日(土)	会報誌校正	飯田橋貸し会議室	会報誌担当役員
14	10月5日(土)	薩南工業高校 関東同窓会	上野「オーラム」	川原副会長
15	10月13日(日)	関東知覧会	アルカディア市ヶ谷	橋本副会長
16	11月9日(土)	評議員会	ルノアール 飯田橋西口店	第49回総会・懇親会について 「神戈陵第48号」発送作業



第49期～第50期(令和7年～8年)役員(敬称略)

役 職	氏 名	卒業年度	備考
会 長	森 山 昭 利	昭和41年	
副 会 長	松 永 郁 代	昭和40年	
副 会 長	峯 苦 稔 三	昭和41年	兼会報誌担当
副 会 長	橋 本 起 世 子	昭和41年	
副 会 長	岡 本 伊 津 子	昭和43年	兼幹事会計
副 会 長	川 原 修 二	昭和45年	兼総会担当
副 会 長	椎 原 直 子	昭和48年	
幹 事 長	山 本 朗	昭和48年	
副 幹 事 長	上 原 和 之	昭和57年	新任
会 計 監 事	函 師 田 格	昭和47年	
会 計 監 事	内 村 哲 也	昭和50年	前副幹事長
事 務 局 長	林 昭 子	昭和50年	
事 務 局 員	上 塩 入 浩 一	昭和63年	
幹 事 会 計	岡 本 伊 津 子	昭和43年	兼副会長
幹 事 会 計	蔵 元 明 洋	昭和49年	
会 報 誌 担 当	宮 脇 千 清	昭和44年	新任
総 会 担 当	矢 島 寿 史	昭和45年	新任
総 会 担 当	田 中 勝 之	昭和56年	前副事務局長
総 会 担 当	有 村 公 美 子	平成6年	前事務局員

※令和6年度末退任：昭和44年卒 会計監事 山下裕一郎



正門ロータリーにある校訓の石碑

ご寄付のお願い

東京同窓会は、会員の皆様からいただく年会費で運営されています。これからも会員各位のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

出費多難のおり、会員皆様には誠に心苦しいお願いでございます。来

年の節目の第50回総会・懇親会の開催にあたり資金的に苦しい状況にあります。節目の第50回大会を成功裏に終えるために、皆様方からのご寄付をお願いいたします。

「年会費について」と「ご寄付のお願い」の詳細は、「会報誌神戈陵第49号送付のご案内」に記載されてい

母校の活動について

ます。ご理解のほど、よろしくお願

母校も地域の少子化の波を受けて、生徒数減少の傾向が続いています。その中でも「母校だより」にありますように、母校一丸となつていろいろ

の活動に取り組まれています。母校生徒さん達の元気な活動に、私たちも元気を頂いています。今年の神戈陵塾では会員の遠見貴弘さんに、ご講演頂きました。今後とも、会員の皆様からの母校への応援をよろしく願います。



第50回記念大会!

総会・懇親会のご案内

- (1) 開催日：2026年5月17日(日曜日)
- (2) 時 間：午後12時～15時(受付11時～)
- (3) 場 所：ホテルグランドヒル市ヶ谷
(JR及び東京メトロ市ヶ谷駅から徒歩5分)

(ご注意) 受付時の混雑緩和のために、
会費：男性10,000円 女性9,000円を
郵便振り込みでの前払いでお願いしています。
(郵便振り込できなかった方も、当日受付いたします。)

今次記念大会は、思い出に残る楽しい企画を検討しています。お友達お誘いでご参加ください。お待ちしております。
運営は昭和56年卒が主担当年度幹事、46年卒の皆さんは補助幹事として、円滑な運営にご協力をお願いします。
最終案内は、令和8年3月に発送予定です。

記念大会に多くの皆様のご参加をお願いします。
同期会で二次会を企画するのも楽しそうです!!

何を創るかはおまかせします。どのように造るかをお手伝いします。

知的創造

必要な時に、必要なだけ。

Eishin 株式会社 盈進社
代表取締役社長 下園典子 (南さつま市金峰町出身)

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1-5-7 東専堂ビル5F
TEL 03-3262-3471(代) FAX 03-5210-7226
URL : www.eishinsya.co.jp Eメール : info@eishinsya.co.jp

川辺高等学校東京同窓会事務局

源泉混混として、
昼夜を舍かず。
科に盈ちて
面る後に進み、
四海に放る。



◆ホームページについて
 東京同窓会が開設して
 いるホームページがあり
 ます。総会の時の写真を
 アップしています。
 また、そのほか、母校
 のホームページなどあり
 ますのでご案内いたしま
 す。
 是非、覗いてみてくだ
 さい。

川辺高校東京同窓会ホームページ

http://kawanabe-hs-tokyo.com/



フェイスブック：ページ名

「川辺高校 東京同窓会FBコミュニティ」



川辺高校ホームページ：

http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/kawanabe/

川辺高校公式ブログ：

http://kawanabe.edu.pref.kagoshima.jp/



◆ 令和6年度 川辺高等学校 東京同窓会 会計報告・監査報告 ◆

自：令和 6年 1月 1日
至：令和 6年 12月 31日

収入の部	金額	支出の部	金額
総会会費収入 64名	601,000	総会関連費	959,151
年会費収入 214名	450,000	会報誌関連費	474,111
会報誌広告収入 15件	190,000	会議費(会場費等)	47,470
寄付金(御祝儀含む) 15名	99,000	通信関連費	5,605
ゆうちょ利息	61	他会出席	42,000
		広告代	40,000
		雑費	41,494
		手数料(振込料・郵送通知等)	37,900
前期繰越金	914,731	翌期繰越金	
		ゆうちょ	6,217
		振替口座	545,965
		現金	54,879
合 計	2,254,792	合 計	2,254,792



総会日 令和 6年 5月 26日(日)

出席者総数 71名

内訳(会員男性 34名、会員女性 30名(内学生 1名)(来賓者 7名)

上記の件、監査の結果相違ありません。

令和 7年 2月 22日

会計監事 圖師日格 
 会計監事 山下裕一郎 



編集後記

今年の酷暑と線状降水帯(ゲリラ豪雨)は日本列島を「熱中症」にしたり、洪水にしたりで大変な年になりました。日本には世界中の人が羨む、春・夏・秋・冬の四つの季節。春夏秋冬の四季があります。それも3か月ずつ上手く区分され、人々はそれぞれの季節ごとの趣のある過ごし方をしてきました。悲しいかな、この季節感が薄らいできています。日本の四季を日本最大の文化として、次の世代に残したいものです。
 水の綺麗な青い星・地球号を永遠に守りたい気持ちでいっぱいです。
 今年は関西万博の年でした、「陵友だより」二編とも万博についての投稿でした。コメントにも書きましたが、二編を読むと万博に行けていませんが、万博に行った気分になることができました。
 「故郷の祭り」には鹿児島市在住の有蘭さんに、「私の作品展」には今年も「たべた田んぼアート実行委員会」の南田さんに執筆頂きました。心から感謝申し上げます。
 その他の執筆を頂いた方々、広告に協賛をいただいた方々へ厚く御礼申し上げます。
 会員の皆様方からの投稿・ご意見等心よりお待ちしております。そして会員の皆様方には「神戈陵」を楽しく読んでいただければ幸いです。
 編集者
 森山、川原、松永、橋本、椎原、山本、矢島、岡本、藏元、内村、有村、宮脇、林、上原、峯苦





校庭の西側に鎮座している「神戈陵」